

2016年10月28日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

ベトナム・ダナン医薬技術大学と学術交流協定を締結

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、ベトナムのダナン医薬技術大学（学長 グエン カック ミン）と学術交流協定を結ぶことになりました。

本学とダナン医薬技術大学とはこれまで、JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）「ダナン市の看護職を対象にした老年ケア・キーパーソン養成事業（※1）」を通じて、ミン学長をはじめとした大学執行部、看護学科の教員を招へいしたり、本学からも看護学科、人間福祉学科、社会福祉学科、専攻科の教員が訪問したりするなど交流を深めてきました。JICA 事業をきっかけに深められた信頼関係を、大学間の学術交流に発展させるために、協定を締結します。

記

【連携協定締結式】

- 日時 2016（平成28）年11月2日（水）午前10時15分～同45分
- 場所 中部学院大学 関キャンパス 同窓会室（関市桐ヶ丘二丁目1番地）
- 日程 出席者紹介
協定内容の説明
協定書の署名
ダナン医薬技術大学学長あいさつ
中部学院大学学長あいさつ
中部学院大学短期大学部学長あいさつ
写真撮影
- 出席者 ダナン医薬技術大学 グエン カック ミン 学長
 中部学院大学 古田 善伯 学長
 中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長 ほか

■ 具体的な連携活動内容

- (1) 教職員の交流
- (2) 学生の交流
- (3) 高等教育及び専門技能の提供
- (4) 相互文化理解カリキュラム
- (5) 共同調査およびシンポジウム
- (6) その他両者が合意した事項

■ 今後の交流計画

看護、介護、リハビリ系の教員、学生の交流を促進し、ベトナムの医療・介護について共同研究を行います。ダナン医薬技術大学から本学の修士課程や学部留学生を受け入れます。また、ダナン医薬技術大学がこれから進める予定の「老年ケア科(教室)」の教育内容について協力します。さらに、本学が仲介して関市内の医療・介護関係者とダナン医薬技術大学との交流を進めます。

※1 JICA 草の根技術協力事業

中部学院大学は、1989年に短期大学部に中部地区で最も早く国の認可を受けて介護福祉士養成課程を設け、2,000名を超える卒業生を介護の現場に輩出してきた伝統校です。そのノウハウを生かし国際貢献に寄与するため、関市と協力し、JICA 草の根技術協力事業に取り組んできました。2015年(平成27年)9月からは、カウンターパートであるベトナムのダナン医薬技術大学で、看護職を対象に日本式老年ケア講義と日本語講座を開講し、27名の看護師資格者が受講しています。また、今年7月から8月にかけては、ベトナムで10カ月間の研修を受講して終了した受講生25名(うち通訳1名)が来日。約1カ月にわたり、介護福祉施設に寝泊まりしながら、大学での講義、介護福祉施設や病院での研修を受けました。日本での研修を受けた受講者は、ベトナムで「老年ケア・キーパーソン」となり、職場の同僚や患者の家族に日本式ケアの理念や技術を伝達し、同国でまもなく迎えることが予想される高齢化社会において、高齢患者やその家族のQOL(Quality Of Life)を高めることを最終目標としています。

■ 参 考（両大学の概要など）

【ダナン医薬技術大学（ベトナム社会主義共和国）】

1963年にダナン医療技術短期大学として設立され、その後2013年に4年制大学として認可されダナン医薬技術大学となった。その後、2015年度に医学部が新たに設置され、現在に至っている。学生数約6,000名

学部：医学部、看護学部、公衆衛生学部、検査学部、歯学部、薬剤学部、基礎科学学部

部門：エックス線部門、麻酔部門、リハビリ部門

【中部学院大学・同短期大学部】

大学院、大学4学部5学科、短期大学部2学科1専攻、通信教育部、留学生別科

大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程

大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部

教育学部子ども教育学科

看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科

経営学部経営学科（2017年度募集停止）

スポーツ健康科学部（2017年度開設）

短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学教育研究支援部研究支援課 担当：浅野

TEL:0575-24-2238（関キャンパス）Mail：chiiki@chubu-gu.ac.jp